

第12回 地域づくり小委員会

2023/3/2 地域づくり小委員会事務局

《 内 容 》

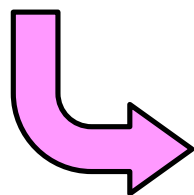
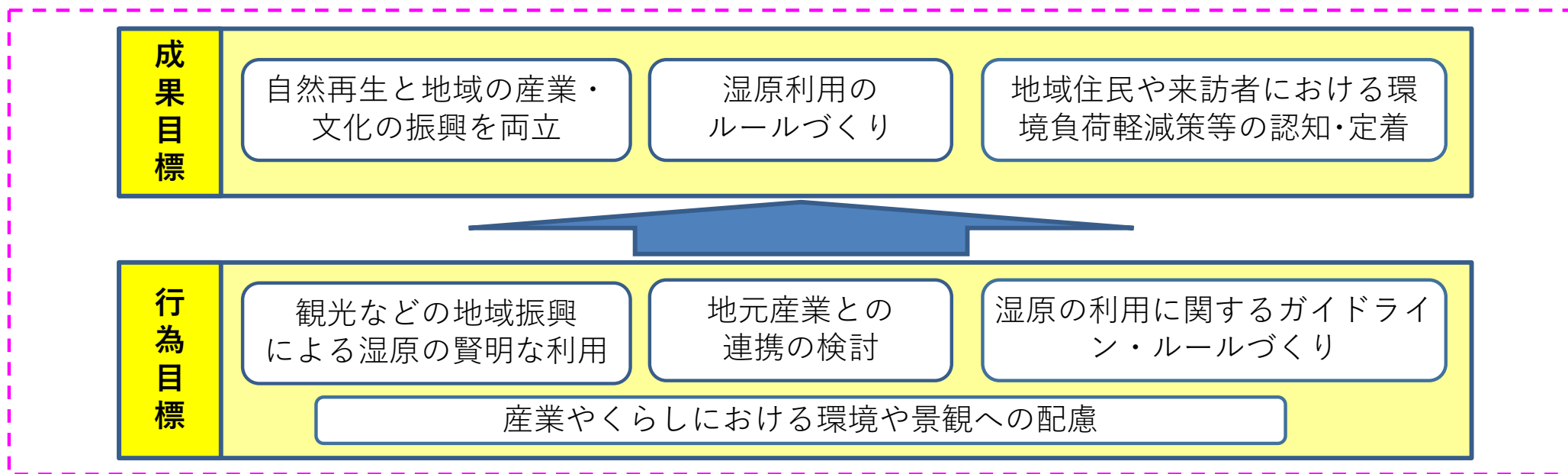
1. 地域づくり小委員会について
2. これまでの経緯
3. 令和4年度 地域づくり小委員会取り組み状況報告

1. 地域づくり小委員会について

■ **地域づくり小委員会とは**

- ・ 地域産業と連携した湿原の「ワイズユース（賢明な利用）」により、釧路湿原を保全・再生することによって、将来にわたり地域産業が豊かになる取り組みを進める。
- ・ 自然再生を通じた地域づくりの推進にあたっては、3つの行為目標（実施すべき内容・手法）に沿って行う。

『第1回地域づくり小委員会資料』より抜粋



【小委員会の考え方、今後の取り組みの方向性】


地域の未来のための具体的な取り組みに向けて

- ・ 小委員会の方向性
 - ・ さらなる利活用の推進に向けた方向性 等を明確化するとともに共有し、
 - ・ 一般の方の理解、共感を得やすく
 - ・ 誰もが参加しやすい
- 地域づくりのビジョンを持って進めていく。


地域づくり小委員会事務局
 釧路総合振興局
 釧路開発建設部治水課
 環境省

2. これまでの経緯

■地域づくり小委員会のこれまでの流れ（1/3）

- 
-
- 2016/1/27 第1回地域づくり小委員会（出席者38名） H27
- ・ 「自然再生推進法」および「釧路湿原自然再生全体構想」について説明（事務局）
 - ・ 釧路湿原における10年間の自然再生事業の取り組みについて説明（事務局）
 - ・ 釧路管内の観光の現状について説明（事務局）
 - ・ 地域づくり小委員会の進め方・・・「湿原と持続的に関われる社会づくり」に向けて、「**行為目標**」「**成果目標**」の共有（事務局）
 - ・ 自己紹介、意見交換（地域づくりの考え方、やってみたいこと、現状の課題など）
-
- 2016/9/28 第2回地域づくり小委員会（出席者27名） H28
- ・ 参加団体の取り組み状況の報告
 - ①釧路湿原散策ツアー（釧路観光コンベンション協会）
 - ②地域づくり活動（タンチョウ保護研究グループ）
 - ・ アンケート結果の報告（事務局）
 - ・ 地域づくり小委員会の進め方について意見交換・・・ワーキンググループに分かれて作業という提案が出る
-
- 2017/2/14 第3回地域づくり小委員会開催（出席者33名）
- ・ ワークショップ実施、6グループでディスカッション
 - ・ 「参加委員の活動内容の情報共有」（前半）、「小委員会で議論したい内容」（後半）について話し合う
-
- 2018/2/13 第4回地域づくり小委員会（出席者25名） H29
- ・ 話題提供
 - ①鶴居村における農泊の取り組みについて（美しい村・鶴居村観光協会）
 - ②海鳥を取りまく自然環境の保全と羽幌の地域振興の両立に向けて（竹中康進委員）
 - ・ アンケート、ワークショップの結果を踏まえ、今後の取り組みおよびテーマについて・今後の進め方について議論
 - 今後の進め方：行為目標である「**観光**」「**産業連携**」「**ルール**」の3つに沿って取り組みを進めていく。
-

■地域づくり小委員会のこれまでの流れ（2/3）

- 
- | | | |
|------------|--|-----|
| 2018/7/2 | 第5回地域づくり小委員会 | H30 |
| | <ul style="list-style-type: none">佐野修久委員長、平岡俊一委員長代理の退任、中村研二委員長、鈴木信委員長代理の就任話題提供：亀山哲委員：未利用農地の分布の定量化、水質の浄化機能アンケート結果を報告（具体的に取り組むテーマ）事務局提案として「産業利用ガイドブック」の作成を説明 | |
| 2018/10/24 | 第6回地域づくり小委員会 | |
| | <ul style="list-style-type: none">産業活用ガイドブックづくり今後の進め方（ガイドブック作成工程、資源さがし）<ul style="list-style-type: none">ガイドブックの目的や活用方法などに対する意見小委員会の進め方自体に対する意見 | |
| 2019/3/20 | 第7回地域づくり小委員会 | |
| | <ul style="list-style-type: none">話題提供：鈴木信（ラムサール条約釧路会議当時の取り組みとその後）小委員会のアウトプットは3部構成<ul style="list-style-type: none">第1部：釧路湿原の現状（釧路湿原の資源＋釧路湿原の法規制）第2部：他地域に見るワイズユース第3部：釧路湿原の新たな活用と作法（活用の具体策とその作法）活用に向けた具体策の検討<ul style="list-style-type: none">6グループに分かれ、取り組み案の話し合いを行い発表 | |
| 2019/7/26 | 第8回地域づくり小委員会 | R01 |
| | <ul style="list-style-type: none">話題提供：小林聡史（釧路公立大学教授）ラムサール条約と世界のワイズユース事例実施プランの進め方<ul style="list-style-type: none">委員事案、小委員会事案、事務局事案に分けて進める<ul style="list-style-type: none">1. 「新規活用プラン」は各委員が小委員会を活用して進める2. 小委員会の事案として「カヌーや釣りの作法・マナーづくり」を進める3. 事務局の事案として「地域づくりビジョン」の作成を進める | |
| 2020/2/18 | 第9回地域づくり小委員会 | |
| | <ul style="list-style-type: none">話題提供：亀山哲（国立環境研究所）「周遊マルチパーパストレイル」の提案実施プランの進め方<ul style="list-style-type: none">委員会事案：カヌーガイドライン作成の進捗報告その他提案：委員からのアイデアにあった気球を上げる提案 | |

■地域づくり小委員会のこれまでの流れ（3/3）

2021/2/17 第10回地域づくり小委員会 R02

- ・ 話題提供：佐藤吉人委員「自然環境の保全・再生」「農地・農業者との両立」「地域づくりへの貢献」
- ・ カヌーガイドラインの更新（委員会事案）、活動報告書の進捗報告（事務局事案）
- ・ 委員事案報告：かわたび（開発局）・熱気球（釧路町）

2022/3/22 第11回地域づくり小委員会 R03

- ・ 話題提供：櫻井一隆委員「農業と釧路湿原の保全」
- ・ 活動報告書の公開（事務局事案）
- ・ カヌーガイドライン本編の公開、ポケット版作成と広報施策（委員会事案）
- ・ 農業事業者との意見交換（委員会事案）
- ・ 委員事案報告：かわたび（開発局）

R04

【今年度（R4）の活動実績】

- | | |
|-----------------------|--|
| 8/24 標茶町との協議 | 【参加者】 標茶町（観光商工課、企画財政課、地域おこし協力隊）
釧路開発建設部、環境省、釧路総合振興局 |
| 9/ 9 鶴居村との協議 | 【参加者】 鶴居村（産業振興課、地域おこし協力隊）
釧路開発建設部、釧路総合振興局 |
| 10/14 鶴居村との現地視察 | 【参加者】 鶴居村、釧路開発建設部 |
| 11/ 2 標茶町との現地視察 | 【参加者】 標茶町、釧路開発建設部、環境省、釧路総合振興局 |
| 11/17 農業事業者（JA阿寒）との協議 | 【参加者】 JA阿寒青年部、釧路開発建設部 |

2023/3/2 第12回地域づくり小委員会

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07
小委員会	第1回	第2回 第3回	第4回	第5回 第6回 第7回	第8回 第9回	第10回	第11回	第12回			全体構想20年
活動	小委員会の設立	小委員会の進め方 ・アンケート ・ワークショップ			3つの事案に分けて活動する						
			3つの行為目標に沿って進める								
			・観光								
			・ルール（作法）								
			・産業連携								
小委員会での話題提供			鶴居村服部氏 環境省竹中氏	国立環境研究所 亀山氏 鈴木委員長代理	釧路公立大 小林氏 国立環境研究所 亀山氏	鶴居佐藤氏	標茶櫻井氏	道東ホース タウンプロ ジェクト 岡本氏 北開水工コ ンサルタン ト石黒氏			

3つの事案に分けて活動する

■委員事案
「新規利活用プラン」を進める。

マルチパーパストレイル（亀山委員）

かわたび連携（開発局治水課）

熱気球（釧路町）

3つの行為目標に沿って進める

■小委員会事案

事業箇所の利活用の推進
（事務局⇔標茶町、鶴居村）

カヌーガイドライン
の更新(R3公開)

(R3)ポケット版の作成 (R4) ポスターを用いた広報、
リーフレットの新規作成

農業事業者との連携

■事務局事案

「産業利用ガイドブック」の提案

アイデアを各事案で活用

「活動報告書」の作成（R03公開）

3. 令和4年度

地域づくり小委員会取り組み状況報告

【小委員会事案】

- ・ カヌーポケット版の公表、広報施策の展開
- ・ 農業事業者との連携継続
- ・ 自然再生事業箇所地域づくり利活用の推進

【委員事案】

- ・ 委員事案について

■地域づくり小委員会の進め方のおさらい

- ・地域づくり小委員会では、3つの行為目標「観光」「産業連携」「ルール」に沿って、具体的なプランを実施していく。（H29 第4回小委員会より）
- ・小委員会事案では、これら3つの行為目標に則した取り組みを小委員会として実施していく。

■取り組み内容**R1～**

- ・見直しの要望が強かった、カヌーガイドラインを更新する。
- ・合わせて広報施策を検討する。

R3～

- ・湿原周辺の土地利用者である農業事業者との連携を深め、湿原の環境保全のさらなる推進を図る。

R4～

- ・自然再生事業が進んでいる事業箇所の「観光」としての利活用を推進させる。

行為目標
(実施すべき内容や手法)湿原の利用に関するガイド
ライン・ルールづくり地元産業との
連携の検討観光などの地域振興
による湿原の賢明な利用

【小委員会事案】




- ・ **カヌーポケット版の公表、広報施策の展開**
- ・ 農業事業者との連携継続
- ・ 自然再生事業箇所の地域づくり利活用の推進

【委員事案】

- ・ 委員事案について

■**カヌーガイドラインの更新【ルール】 R1~**

- ・ 行為目標の1つである「ルール」のうち、公開から概ね15年経過した「**カヌーガイドライン**」を**更新**する。合わせて**広報施策**を進める。

作成物	R1	R2	R3	R4	R5
カヌーガイドライン 	カヌーガイドラインの更新		公開済		
カヌーガイドライン ポケット版 			作成	印刷中	
カヌーガイドライン ポスター版 			作成	公開済 道の駅等に掲示	
カヌーガイドライン リーフレット版				作成	公開・配布 ■■■■

【管理的ツール】河川の安全利用と楽しさを広報する

①ガイドライン(冊子版)・・・公開済み

指針の位置づけ。問合せ対応等に活用

＜対象＞ 関係機関、アウトドア事業者、観光協会等

＜広報手段＞ ホームページで公開

②ガイドライン(ポケット版)・・・印刷中

カヌー等の利用者が現地で活用

＜対象＞ カヌー利用者に、関係機関、旅行事業者等

＜広報手段＞ 関係機関、アウトドア事業者、観光協会等から配布、ホームページで公開
カヌーポートで二次元バーコードから入手

【利用者拡大ツール】利用者の呼び込みが目的

③ポスター・・・公開済み

地元にかヌー利用や自然再生の取り組みをPR

＜広報協力者＞ 関係機関、アウトドア事業者、観光協会等の機関、宿泊施設、交通機関等

＜広報手段＞ 掲示

④リーフレット・・・作成中

遠方へかヌー利用や自然再生の取り組みをPR

＜広報協力者＞ 旅行事業者、広告代理店、新聞・広報誌等

＜広報手段＞ 配布

オモテ面

作成イメージ

釧路 湿原 カヌー旅



ウラ面

Canoeing in KUSHIRO

日本最大の釧路湿原でカヌーを楽しむ

釧路川でのカヌーの魅力は、豊かな自然に囲まれ車の騒音などが届かない大自然の中で、水の音や鳥の声、風の音などに耳をかたむけ、多くの野生動物との出会いを通して、自然をより身近に感じられることです。また北海道には、アウトドア活動に対する経験や知識が求められる「北海道アウトドアガイド」の資格制度があります。こうした資格を持つガイドとともにカヌーを楽しむと釧路川・釧路湿原の魅力をさらに満喫できるでしょう。



釧路でカヌー満喫旅 モデルプラン

- 8:20 AM ○ 塘路湖キャンプ場またはJR塘路駅前に集合
釧路駅から、釧路湿原ノロッコ号に乗って景色を楽しみながら塘路駅へ。車の場合は釧路市内から約40分。
- 9:30 AM ○ 釧路湿原カヌーツーリング開始！
【塘路湖～細岡】
▶延長約10km ▶所要時間の目安 1時間30分～2時間
釧路湿原最大の湖である塘路湖でもカヌーを楽しむことができ、アレキナイ川から釧路川に入り、釧路川本川を下って細岡カヌーポートに至る区間です。広大な湖、拍い支流、雄大な釧路川本川と異なるロケーションを一度に堪能できるのが最大の魅力です。
- 11:30 AM ○ カヌーポートでのんびりランチタイム
下ってきた釧路川を眺めながら、ゆったりと食べるお弁当は格別。最高に贅沢な癒しの時間です。
- 13:30 PM ○ 午後は釧路川をゆったり下って行きます
【細岡～旧岩保水門】
▶延長約8km ▶所要時間の目安 1時間30分～2時間
細岡カヌーポートをスタートし、釧路湿原を航行して流れる釧路川をゆったりと下り、歴史的な建造物として親しまれている旧岩保水門に至るコースです。周囲には広大な湿原にヨシが生い茂り、最も釧路湿原らしさを感じられるコースの一つです。
- 15:30 PM ○ 旧岩保水門に到着！おつかれさまでした！
釧路市内へ戻ります。列車に揺られて一眠り...
- 18:00 PM ○ 夜は釧路港の炉端焼きで乾杯！
釧路川の湖畔を歩いて食事へGO！
釧路名物の夕日ハイボールを片手に海の幸や「サンタレ」を食べて大満足！

運が良ければタンチョウ、オジロワシ、オオワシ、エゾシカ、キタキツネなど野生動物に出会えるかもしれません。



釧路のザンギといえば、蹄を丸ごとぶつ切りにした骨つき煮揚げです。独自のタレをつけて食べるのが釧路ザンギの特徴です。

釧路湿原自然再生について

「釧路湿原自然再生協議会」を中心に、釧路湿原の保全・再生に向けた「釧路湿原自然再生」の様々な取組が進められています。
二次元バーコードからご覧ください。

POINT

釧路湿原の保全のためのカヌー利用のルール・マナー、安全対策、楽しみ方、見どころなどを掲載した「釧路川保全と利用のカヌーガイドライン」もぜひご覧ください。釧路川・釧路湿原の素晴らしい自然環境をまもるためのルール・マナーをガイドラインからご確認ください。釧路地方は夏でも涼涼な気候ですので、快適なカヌーを楽しめるよう、装備品も事前にご確認ください。

■リーフレット版のコンセプト

➤ターゲット：一般客

➤ねらい：釧路に向かうきっかけづくり

釧路川・釧路湿原でカヌーが楽しめることを知り、行きたいと思ってもらう

➤内 容：カヌーをアピールしてめだつオモテ面

見やすく楽しみ方を提案し、必要な情報にたどり着けるリンク等示したウラ面

釧路の場所、行き方（釧路空港を示すくらいで十分では）

多くの方は釧路市に拠点を置くと考え、釧路空港～釧路市内までの所要時間

カヌーをやるための情報・・・ガイドにつながる情報（二次元バーコード）

・・・ポケット版、冊子版へのリンク

行きたくなるプラスワン情報（グルメなど）

【小委員会事案】

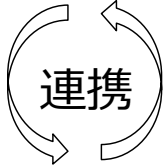
- ・ カヌーポケット版の公表、広報施策の展開
- ・ **農業事業者との連携継続**
- ・ 自然再生事業箇所の地域づくり利活用の推進

【委員事案】

- ・ 委員事案について

■ 農業事業者との連携【産業連携】 R3～

地域づくり小委員会



農業事業者



- ・ 農業事業者が行っている負荷排出量低減など環境保全に関する取り組み内容があまり知られていない。
- ・ 釧路湿原周辺の農業事業者からの負荷排出量の低減の協力が湿原の環境保全に直接つながる。

【小委員会として行うこと】

- ・ 農業事業者にヒアリングを行い、農業事業者が取り組まれていることを把握する。
- ・ 釧路湿原の自然再生に関わる農業事業者の取り組みをニュースレター等で情報発信する。

【実施内容】

- ・ R3年度は標茶町の農業事業者に環境保全の取り組み内容についてヒアリングを行った。
- ・ R4年度は別の地域の農業事業者にヒアリングを行い、環境保全に関する取り組みについてヒアリングを行った。

【参考】 R3実施



R03 ヒアリング実施（標茶西地区農地・水保全隊）

実施日：2022年（令和4年）1月27日

参加者：佐久間三男さん（地域づくり小委員会委員）、櫻井一隆さん（同）、平間清さん（同）、木元さん（標茶町農林課）、日野さん、釧路開建治水課ほか事務局

■農業事業者との連携継続

【ヒアリング実施】

実施日：2022年（令和4年）11月17日

参加者：JA阿寒青年部（浅野達彦氏）、小委員会事務局（釧路開建ほか）

【ヒアリングの概要】

- ・ 釧路湿原は、観光資源として認識しており、実習で来た学生を展望台に連れて行ったりしている。
- ・ JA阿寒としては、糞尿を堆肥センターに運搬し、堆肥化を行い、畑に還元している。
- ・ また、堆肥センターにバイオガスプラントが併設されており、作られた電気・熱は堆肥センターや隣接する大規模酪農家で使用されている。
- ・ 個人的には、施肥が過剰とならないよう草地面積に合わせた飼育頭数で酪農を行っている。



【ヒアリングの結果】

- ・ 排出される糞尿を堆肥にすることや、メタン放出量の削減・カーボンニュートラルのような社会的な要請の中で、農家として出来ることを実施されている。

■農業事業者との連携継続

■ヒアリングで分かったこと

農家として負荷排出量の低減の取り組みなど出来ることを実施している。

肥料の堆肥化を行い、水質汚染防止に努めている。
また、バイオマス発電によりCO₂排出量を削減している等の環境保全に繋がる取り組みを実施中である。

釧路湿原は観光資源として認識している。一方で釧路湿原では何が行われているのか分からない部分がある。

■小委員会で出来ること

環境保全に繋がる取り組み内容をニュースレター等で情報発信する。

自然再生事業に関する内容を農業事業者にも知ってもらう。

■将来的な可能性

取り組みの周知により農業事業者・生産物への信用が高まる。

新たな働き手の確保に繋がる。

農業事業者が環境保全への、さらなる協力を繋がる。

【今後に向けて】

- ・小委員会としては、農業事業者の環境保全に関する取り組みについて、ニュースレター等で情報発信を行い、取り組み内容に関する一般への認知度向上を図る。
- ・自然再生協議会での自然再生事業の取り組みを農業事業者を含め一般に広く伝える。
- ・農業事業者との連携に向けての取り組みを引き続き実施する。

【小委員会事案】

- ・ カヌーポケット版の公表、広報施策の展開
- ・ 農業事業者との連携継続
- ・ **自然再生事業箇所の地域づくり利活用の推進**

【委員事案】

- ・ 委員事案について

■事業箇所の利活用の推進【観光】 R4～**【現状の整理】**

- ①自然再生事業箇所は視察等の訪問先になっているが、十分に活用されているとは言い難い。
- ②事業実施箇所が増えて、一連での利活用が可能になってきた。
- ③新型コロナウイルスの影響により観光客が減少した。



- ・自然再生事業が進んでいる事業箇所について、自治体との連携で利活用を推進していくことが効果的である。

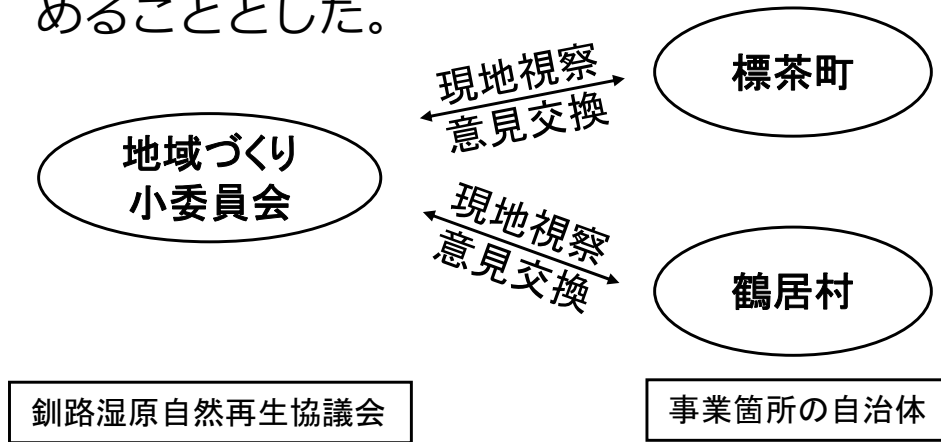


- ・自治体と一緒に自然再生箇所の現地視察や意見交換をすることで、自然再生事業箇所を地域で有効に利活用できるよう進めていく。



■事業箇所の自治体について

- ・自然再生事業が多く行われている「標茶町」「鶴居村」から事業箇所の利活用の協議を進めることとした。



【標茶町】

- ・釧路川本川の茅沼地区で旧川復元が行われた。
- ・又マオロ地区で2箇所目の旧川復元が現在進められている。
- ・工事中の現在に「Before」、工事完了後に「After」の確認をすることが出来る又マオロ地区で現地視察と意見交換を実施する。

【鶴居村】

- ・幌呂地区で未利用農地の地盤切り下げによる湿原再生が進められており、良好な環境が形成されつつある。
- ・工事は進んでいるが、利活用に関する取り組みがあまり進んでいない幌呂地区で現地視察と意見交換を実施する。



【参考】茅沼地区の旧川復元

- ・直線河道の左岸側にある旧川の復元を実施した。
- ・旧川の復元後に直線河道部の埋め戻しを行った。



【参考】ヌマオロ地区の旧川復元

- ・旧川は直線河道の左右岸どちらにもある。
- ・直線河道の河岸には高木が立ち並んでいる。
- ・旧川は直線河道よりも川幅が狭く湾曲している。



直線河道の状況



旧川の状況



■ 標茶町との現地視察

【現地視察時の主な意見】

- ①旧川復元後に設置される木道（散策路）は観光用として活用ができる。
- ②旧川復元により生物が豊かになるのは観光の観点でも価値がある。



▲ 現河道の近くにある旧川を視察



▲ 旧川沿いを歩いて視察



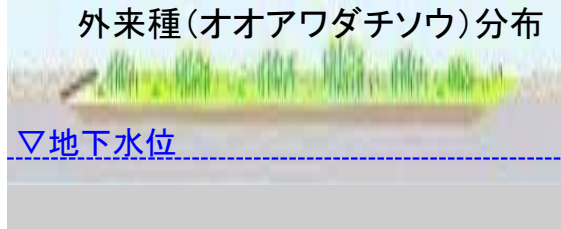
▲ 旧川を見ながら意見交換

【参考】幌呂地区の湿原再生

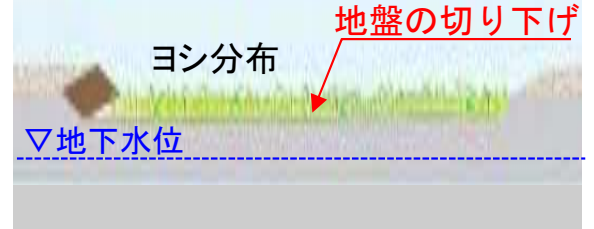
- ・地盤の切り下げが完了した箇所では植生が回復した。
- ・また、タンチョウが水辺近くにいることを確認した。

【地盤切り下げのイメージ図】

実施前



実施後



- 相対的な地下水位の上昇
- 外来種除去
- 湿原植生の回復



令和4年撮影

令和3年撮影

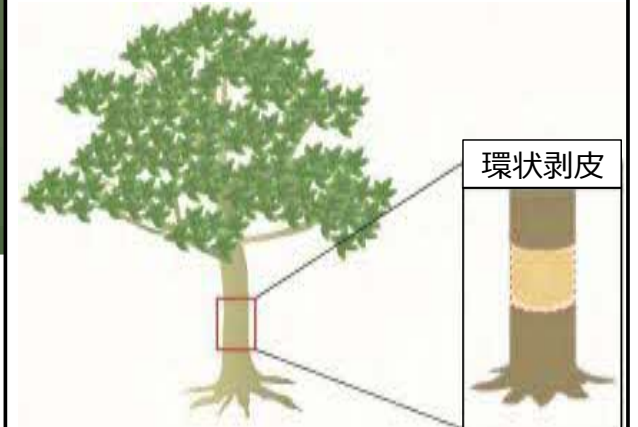
■鶴居村との現地視察

【現地視察時の主な意見】

- ①ハンノキの環状剥皮を湿原方向に続けて湿原まで道がつながると、さらに利活用の可能性が広がると考えられる。
- ②ヨシ苗の移植体験は、鶴居村でも環境学習として活用できる。
- ③幌呂地区を説明する看板の付近に駐車スペースを設けて自然再生箇所を見渡せると良いと感じた。



【環状剥皮（巻き枯らし）について】



・樹皮付近にある養分を根へ運ぶ篩部（しぶ）を除去することで根への栄養供給を遮断し、樹木を衰退させる。



①環状剥皮を行った箇所



②ヨシ苗の移植を体験した箇所



③看板が設置されている箇所

■今後について

- ・引き続き自治体と協議を行い、地域づくり小委員会として自然再生箇所の利活用を進めていく。



↑ 鶴居村との現地視察



↑ 標茶町との現地視察

【小委員会事案】

- ・ カヌーポケット版の公表、広報施策の展開
- ・ 農業事業者との連携継続
- ・ 自然再生事業箇所の地域づくり利活用の推進

【委員事案】

- ・ 委員事案について

■これまでの委員事案一覧

- ・令和元年度からの委員事案一覧を以下に示す。

委員事案	実施者	実施年度
釧路湿原周遊マルチパーパストレイル	亀山委員	R1～
釧路町が誇る釧路湿原を満喫できるモニターツアー（かわたび北海道）	釧路開建	R1
道の駅を拠点とした外国人ドライブ観光促進（かわたび北海道）	釧路開建	R1
【参考】農業事業者と連携した自然再生見学会	釧路開建（水循環小委員会）	R1
気球係留フライト	釧路町	R2
シーニックバイウェイと連携したサイクルツーリズム（かわたび北海道）	釧路開建	R2～
かわたび×うまたび（かわたび北海道）	釧路開建	R3～

○**釧路湿原右岸堤防サイクリング**

- ・令和2年度から釧路川の水辺利活用を推進するため、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイと連携し、釧路湿原内の河川堤防を活用したサイクルコースの試走会を実施している。
- ・令和4年度は釧路湿原を縦断する湿原右岸堤防と簡易軌道跡を活用した試走会を実施した。

【実施日】令和4年10月15日（土） 8時30分～15時00分

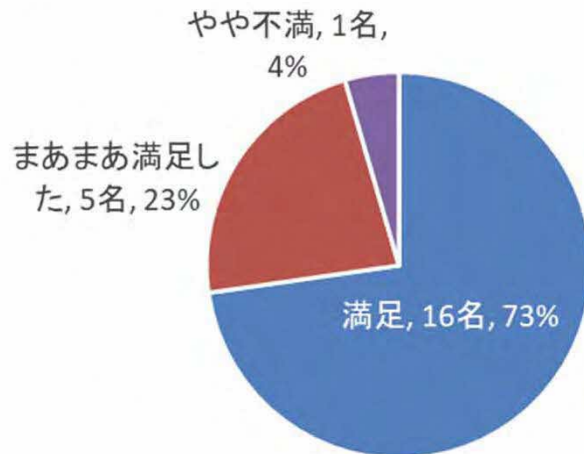
【走行区間】①スタート：新釧路川 左岸ラグビー場駐車場 → ②右岸堤防 → ③温根内ビジターセンター → ④北斗遺跡（昼食） → ⑤釧路湿原道路 → ⑥ゴール：新釧路川 左岸ラグビー場駐車場



○**釧路湿原右岸堤防サイクリング**

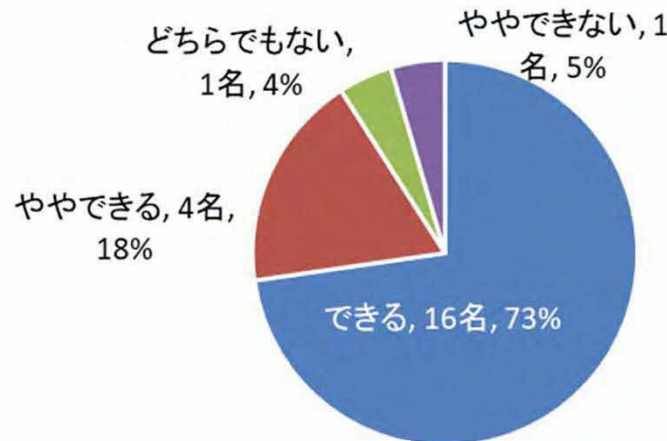
【アンケート結果】

本日の「新釧路川右岸堤防試走会」
についての満足度



N=22名

サイクリングコースとして
観光利用できると思うか



N=22名

主な意見
コースの魅力
展望台から見てずっと気になっていた堤防を走れた。
普段歩くような道も自転車で走ることによって、長い距離を短い時間で観光できるのが良いと思った。
大自然や湿原、景色を満喫
車とちがい景色をゆっくり見ることが出来る。湿原を周遊できる。自分で回ったところ達成感、満足度が高い。
堤防の役割がわかったから、風景がすばらしい！

○**釧路湿原右岸堤防の活用**

- ・釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの構成員のくしろココサイクルプロジェクトや観光事業者により、デジタルスタンプラリーコース、観光モデルコースとして新釧路川堤防ルート活用が進められる。



【活用に向けた今後の検討内容】

- ・ツアーとして釧路湿原内を利用する際の課題を整理する。
- ・サイクリングに適している時期、自転車の借用箇所等の発信情報を整理する。

○かわたび×うまたび

- ・ 標茶町の「馬を核とした地域づくり」を目指す、町と官民連携の道東ホースタウンプロジェクトとの連携で河川空間の活用（ホーストレッキング河川コース）の取り組みを実施している。
- ・ R3年度は標茶町開運橋から茅沼でコーステストを実施し、「かわたび」の優秀賞に選ばれた。

【標茶町開運橋から茅沼でコーステストを実施】



開運橋から五十石でコーステストを実施（R3.11.5）

